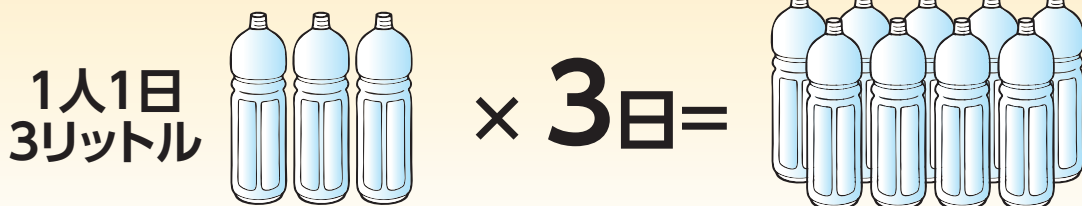


特集
記事


「いざ」というときに備えよう!

～災害等で断水になった時の為に～



1人1日3リットルの水を3日分→9リットルの水を備蓄しましょう

例)3人家族なら… 9リットル × 3人→27リットル



どうして3日分なの?

大規模で広範囲に及ぶ災害の場合、応急給水の体制が整うまで2～3日の時間が必要だからです。

生活水の確保も!

手洗いやトイレに流す水など、飲料以外の水(生活水)の確保も大切です。

災害時に必要な水の量は、飲料水と生活水をあわせて、1人1日当たり20～60リットルとされています。浴槽には通常200リットル程の水がありますので、捨てずに取っておくと、いざというときにトイレや洗濯など、有効な生活水として活用できます。

水道水も保存できます

水道水も、以下のようにすれば保存することができます。ご利用ください。

【保存方法】

- ◎容器 清潔でフタがついた(空気が入らない)もの
空気がはいらぬよう容器を満水にして保存すると、塩素が消えにくく長持ちします。
- ◎保存場所 直射日光が当たらない場所
- ◎保存期間 約3日
塩素は時間がたつにつれて減少します。期間が過ぎた水は洗濯や庭木等の水やりにご利用ください。また、浄水器を通した水は、塩素が失われ保存ができませんのでご注意ください。

市のとりのくみ

応急給水機材、緊急資材の確保

滝沢市では、災害時の断水に備えて給水タンク車(加圧式・2m³)や、給水拠点用給水タンク、給水スタンドなどの備品を整備するとともに、水道管の修理に必要な機材を備蓄しています。



災害対応訓練等の実施

平成26年(10月末時点)は、岩手県総合防災訓練や自治会主催の自主防災訓練の際に合わせて応援給水拠点設営等の訓練をしています。

